

【算数・小5・「単位量あたりの大きさ」】①

育成を目指す資質・能力

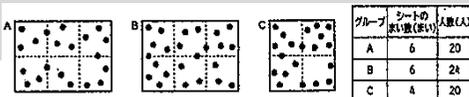
- (知識・技能) ・単位量あたりの大きさについて、その意味や表し方を理解している。
・いろいろな単位量あたりの大きさを求めて比べたり、問題を解決したりすることができる。
- (思・判・表) ・単位量あたりの考え方をを用いて、混み具合の比べ方を考え、説明している。
・混み具合を比べる式について、その意味や計算によって得られた数値の意味を考え、説明している。
- (学びに向かう力) ・混み具合の比べ方について、多面的に考え、よりよい考え方を追究しようとしている。
・単位量あたりの大きさが活用されている場面を身の回りから見付け、単位量あたりの大きさを考えることよさに気付き、生活や学習に生かそうとしている。

ICT活用のポイント

学習支援ソフトで実際に操作をしながら思考ツールとして活用し、多様な考えに触れ、学びを広げたり深めたりできるようにする。

【つかむ】本時の課題を把握し、学習の見通しをもつ

3つのグループの混みぐあいを比べましょう



【追究する】

既習の学習を基に混みぐあいの比べ方を考え、他の児童の考えを参考にしながら、自分の考えをまとめる。

【まとめる】

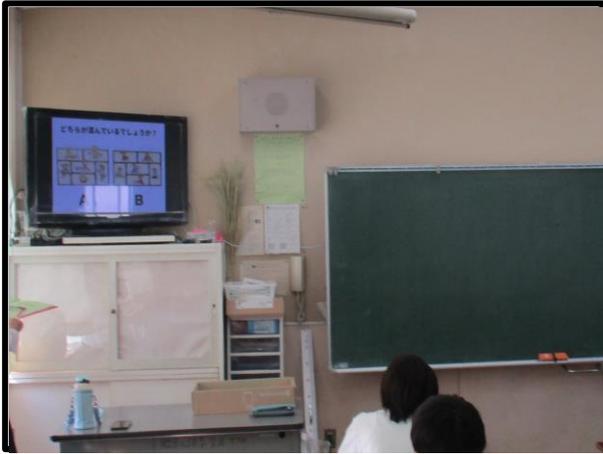
混みぐあいの比べ方についてまとめる

事例の概要

- ①導入時、学習課題の把握のために「混んでいる」「すいている」とはどのような状態であるか、どのようにすれば比べられるかについて、画面に提示し、全体で確認する。
- ②追究の場面で、「3つのグループの混みぐあいを比べる活動」において、シートの枚数、人数それぞれ違うものを比較した。
考える手立てとして、その比較する図を配信した。
(1)図の黒丸（人を表すもの）を動かすことができ、1枚のシートに何人いるか、ならず（整理する）ことができる。
(2)図を複製することができ、シートの枚数を同じにして、人数を比べることができる。
ICT端末上に送信された本時の課題について、自分の考えを提出する。
- ③ICT端末上で共有された友だちの考えを自分のものと比較して、考えを深める。

【算数・小5・「単位量あたりの大きさ」】②

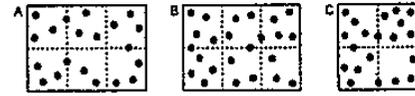
【事例におけるICT活用の場面①】



①導入時、既習事項の確認として、どちらが混んでいるかテレビで図を提示し、児童に答えさせていた。本時の学習への興味をもたせるとともに、混みぐあいを比較するときには、人数を面積であることを確認した。

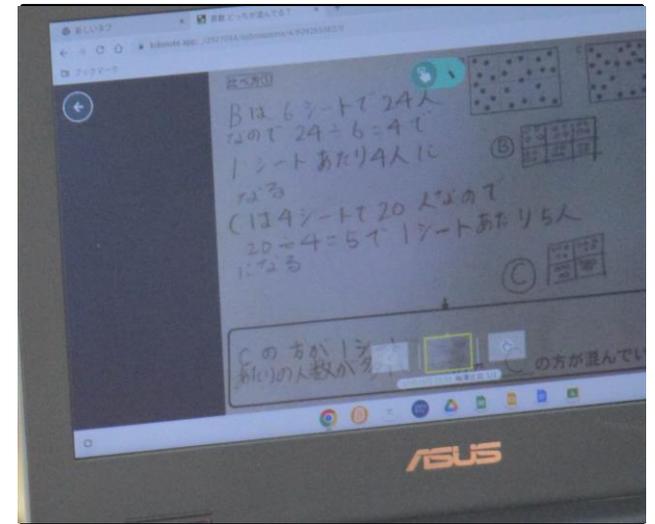
また、図に出てくる人を動かすことができ、どんな状態が混んでいるか視覚的に確認することができた。

3つのグループの混みぐあいを比べましょう。



グループ	シートのまい数(まい)	人数(人)
A	6	20
B	6	24
C	4	20

【事例におけるICT活用の場面③】



②本時の課題「3つのグループの混みぐあいを比べる」活動において、シートの枚数、人数それぞれ違うものを比較した。考える手立てとして、その比較する図を配信した。

(1)図の○(人を表すもの)を動かすことで、1枚のシートに何人いて、混んでいるかについて視覚的に比較できた。

(2)また、図を複製することによって、シートの枚数をそろえて人数を比較し、混んでいるかどうか判断できた。

③提出されたものから、他の人の考えを見ることができ、同じように操作する児童がいたほか、参考にして自分の考えをまとめる児童もいた。

また、出た考えをそれぞれ比較して自分の考えを広げている児童もいた。

【事例におけるICT活用の場面②】

